

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3056360号

(45) 発行日 平成11年(1999) 2月16日

(24) 登録日 平成10年(1998)11月18日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 4 C 17/02

A 4 4 C 17/02

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号

実願平10-6251

(22) 出願日

平成10年(1998) 7月31日

(73) 実用新案権者 592081807

株式会社入倉貴金属工芸

東京都板橋区幸町22-5

(72) 考案者 野田伸二

埼玉県朝霞市浜崎3-3-5

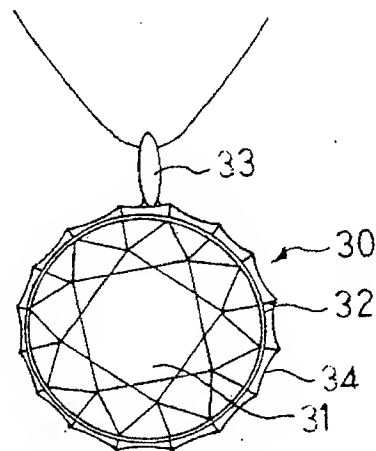
(74) 代理人 弁理士 吉澤 弘朗

(54) 【考案の名称】 ファセットカット宝石の宝石固定金具

(57) 【要約】

【課題】ファセットカット宝石の輝きを發揮しつつ、宝石自体を大きく見せることができる宝石固定金具を提供する。

【解決手段】ファセットカット宝石に、少なくともそのガードルの半周より長尺で帯状の支持片を巻着し、支持片の一側には釣り下げ部を付設すると共に、支持片の表面には多面カット形状などからなる装飾部を形成する。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】上半部で複数のカット面から略円錐台状に形成されるクラウンと、下半部で複数のカット面から略円錐状に形成されるバビリオンを有し、その間の周縁部にはガードルを備えるファセットカットされた宝石を、少なくとも前記ガードルの半周より長尺の帯状の支持片により巻着し、前記支持片の一側には釣り下げ部を付設すると共に、前記支持片の表面には多面カット形状からなる装飾部を形成したことを特徴とする宝石固定金具。

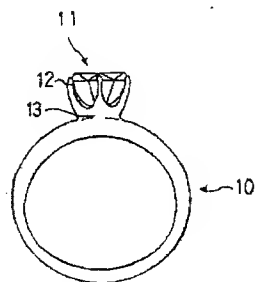
【請求項2】前記ファセットカット宝石は、上半部で複数のカット面から略涙型角錐台状、略葉型角錐台状、略ハート角錐台状、略楕円錐台状、あるいは略四角錐台状に形成されるクラウンと、下半部で略涙型角錐状、略葉型角錐状、略ハート角錐状、略楕円錐状、あるいは略四角錐状に形成されるバビリオンを有し、その間の周縁部にはガードルを備えるものであることを特徴とする請求項1に記載されたファセットカット宝石の固定金具。

【図面の簡単な説明】

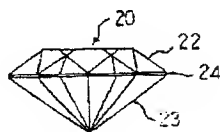
図1は、従来のファセットカット宝石の固定金具を示す平面図である。図2は、ファセットカット宝石のカットスタイルの一実施形態を示す側面図である。図3は、本考案に係る宝石固定金具の第一実施形態を示す平面図である。図4は、本考案に係る宝石固定金具の第一実施形態の部品を示す斜視図、図5は、その製作工程を示す側面図、図6は、その側面図、図7は、その部分拡大断面図である。図8は、本考案に係る宝石固定金具を指輪として使用した状態を示す斜視図である。図9は、本考案に係る宝石固定金具の第二実施形態を示す平面図であり、図10は、その側面図である。図11(a)、図11(b)、図11(c)、図11(d)、図11(e)は、ベアシェイブカット、マーキースカット、ハートシェイブカット、オーバルミックスカット、エメラルドカットからなるファセットカット宝石を、本考案に係る宝石固定金具を使用して取り付けした状態を示す平面図である。

- * 10 宝石固定金具
- 11 ファセットカット宝石
- 12 ツメ部
- 13 石座
- 20 ファセットカット宝石
- 22 クラウン
- 23 バビリオン
- 24 ガードル
- 30 宝石固定金具
- 31 ファセットカット宝石
- 32 支持片
- 33 釣り下げ部
- 34 装飾部
- 36 丸線
- 37 接触面
- 38 両端
- 39 a 輪環状の部材
- 40 宝石固定金具
- 41 ファセットカット宝石
- 42 支持片
- 43 釣り下げ部
- 44 接続リング
- 45 指輪
- 50 宝石固定金具
- 51 ファセットカット宝石
- 52 支持片
- 53 釣り下げ部
- 60 宝石固定金具
- 61 ベアシェイブカット宝石
- 62 支持片
- 63 釣り下げ部
- 65 マーキースカット宝石
- 66 ハートシェイブカット宝石
- 67 オーバルミックスカット宝石
- * 68 エメラルドカット宝石

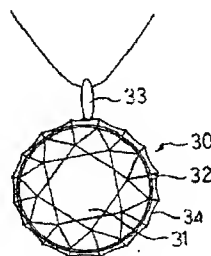
【図1】



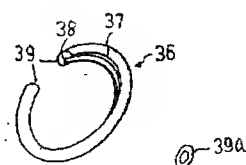
【図2】



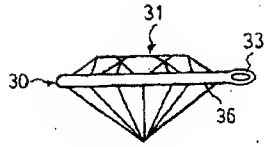
【図3】



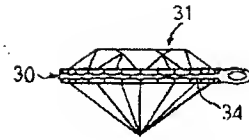
【図4】



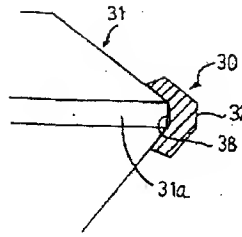
【図5】



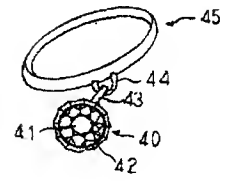
【図6】



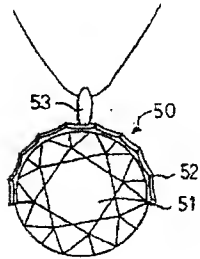
【図7】



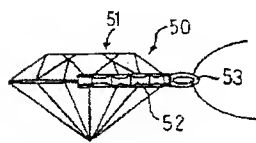
【図8】



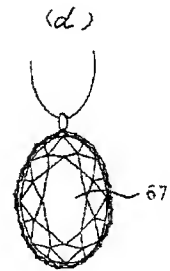
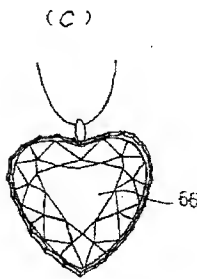
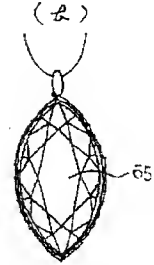
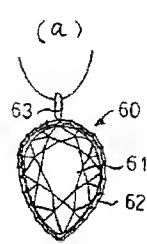
【図9】



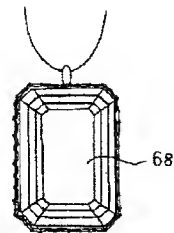
【図10】



【図11】



(e)



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案が属する技術分野】**

本考案は、ファセットカットされた宝石をペンダント、指輪、ブローチ、イヤリング、ピアスなどの装身具に取り付ける宝石固定金具に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来より、ファセットカット宝石を装身具に取り付ける宝石固定金具としては、ファセットカット宝石の上半部に複数のカット面から略円錐台状に形成されるクラウンを複数のツメ部により当接すると共に、下半部に複数のカット面から略円錐状に形成されるパビリオンを石座により保持して、上下方向より把持して取り付けるような構造が最も一般的であった。

【0003】

しかし、前記の宝石固定金具によれば、複数のツメ部と石座によりカット面のかなりの部分が覆われてしまうので、ファセットカット宝石に入射する光が減殺され、その輝きが損なわれてしまうという欠点があった。

また、上半部のカット面は最も視覚に入りやすい部分であるから、クラウンに複数のツメ部が当接していることにより、ファセットカット宝石と宝石固定金具の境界が明らかに認識され、ファセットカット宝石そのままの美しさを生かすことができないという欠点も生じていた。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

本考案は、ファセットカット宝石をそのカット面が複数のツメ部や石座により覆われることがないため、その輝きを損なうがことなく取り付けることができる宝石固定金具を提供することを目的とする。

また本考案は、ファセットカット宝石と宝石固定金具との境界が認識し難いため、ファセットカット宝石そのままの美しさを生かすことができ、かつファセットカット宝石自体を大きく見せることができる宝石固定金具を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1に記載された本考案に係る宝石固定金具は、上半部で複数のカット面から略円錐台状に形成されるクラウンと、下半部で複数のカット面から略円錐状に形成されるパビリオンを有し、その間の周縁部にはガードルを備えるファセットカットされた宝石を、少なくとも前記ガードルの半周より長尺の帯状の支持片により巻着し、前記支持片の一侧には釣り下げ部を付設すると共に、前記支持片の表面には多面カット形状からなる装飾部を形成したことを特徴とするものである。

【0006】

本考案に係る宝石固定金具によれば、ファセットカット宝石は、帯状の支持片がガードルに巻着し、その弾性的押圧により水平方向から把持されるので、支持片に確実に取り付けられる。

ファセットカット宝石の上半部クラウンや下半部パビリオンを形成するカット面が、複数のツメ部や石座により覆われずに露呈するので、宝石固定金具によりファセットカット宝石の輝きが損なわれてしまうことがない。

また、ファセットカット宝石のガードルが支持片により保護されるので、ファセットカット宝石に外部衝撃が加わった場合などの保護を図ることもできる。

【0007】

更に、本考案に係る宝石固定金具によれば、ファセットカット宝石のカット面のみならず、多面カット形状により形成された装飾部でも光が反射し、ファセットカット宝石と固定金具が一体となって輝くので、やや離れて観察した場合には、その境界が全く認識されない。

よって、ファセットカット宝石そのままの美しさを生かすことができるばかりか、光輝く支持片の外周幅だけファセットカット宝石自体を大きく見せることができる。

【0008】

また、請求項2に記載された本考案に係る宝石固定金具は、請求項1に記載されたファセット宝石の固定金具において、前記ファセットカット宝石は、上半部

で複数のカット面から略涙型角錐台状、略葉型角錐台状、略ハート角錐台状、略楕円錐台状、あるいは略四角錐台状に形成されるクラウンと、下半部で略涙型角錐状、略葉型角錐状、略ハート角錐状、略楕円錐状、あるいは略四角錐状に形成されるバビリオンを有し、その間の周縁部にはガードルを備えるものであることを特徴とするものである。

【0009】

本考案に係る宝石固定金具によれば、いわゆるラウンドブリリアントカット形状以外の種々のファセットカット宝石についても、本考案に係る宝石固定金具により取り付けることができ、装身具として使用する場合のデザイン的なバリエーションを拡げることができる。

【0010】

【考案の実施の形態】

以下、本考案の好ましい実施の形態を、図面を使用して説明する。

図2は、本考案に係る宝石固定金具により取り付けられるファセットカット宝石のカットスタイルの一実施形態、例えばラウンドブリリアントカット形状を示す側面図である。

ファセットカット宝石20は、上半部に複数のカット面による略円錐台状に形成されるクラウン22と、下半部に複数のカット面から略円錐状に形成されるバビリオン23を有し、その間の周縁部にはガードル24を備えている。

なお、ファセットカット宝石20は、例えば、ダイヤモンド、ルビー、サファイア、エメラルド、その他のファセットカットされた貴石、半貴石、合成石からなるものである。

【0011】図3は、本考案に係る宝石固定金具の第一実施形態を示す平面図であり、図4はその部品を示す斜視図、図5は、その製作工程を示す側面図、図6は、その側面図、図7は、その部分拡大断面図である。

本実施形態における宝石固定金具30は、ファセットカット宝石31のガードルの全周に巻着する帯状の支持片32と、支持片の一侧には輪環状の釣り下げ部33を付設すると共に、支持片32の表面には、多面カット形状からなる装飾部34が凹状に湾曲して形成されたものである。

【0012】

ここで、支持片32は、例えば、ファセットカット宝石の外周長さに切断された金属の丸線36を素材とし、その一面を平坦に研磨することで接触面37を形成し、さらに接触面37の略中央をグラインダーなどにより切削加工することで溝部38を形成し、ファセットカット宝石の外周形状に合わせて弾性変形する。

次に、弾性変形された丸線36はファセットカット宝石31に取り付けられ、両端38がろう付け、一体的に連結されることで、ファセットカット宝石31のガードルに帯状に巻着される。

なお、前記ろう付けに際しては、ほう砂などのフラックスを、両端38のみならず、ファセットカット宝石31にも塗布しておくことで、その表面を高温より保護することができる。

【0013】

釣り下げ部33は、輪環状の部材39aをろう付けすることで、宝石巻着後の支持片32に付設される。

釣り下げ部は33の孔には、例えば、ペンダントとして使用する宝石固定金具の場合は、ネックレスチェーンが挿通され、指輪として使用する宝石固定金具の場合は、さらに指輪本体に付設された接続部が挿通され、宝石固定金具30と装身具本体が接続される。

なお、係る接続方法によれば、装身具使用時に宝石固定金具30が揺動し、ファセットカット宝石31により反射した光が瞬く作用もあるので、身飾品としての美しさを高めることができる。

【0014】

さらに、丸線36の表面には、多面カット形状などからなる装飾部34が形成される。

その形成方法としては、例えば、宝飾品加工用のリユーターを使用して、支持片32を上下方向より一面、一面を切削加工していくことによる。

あるいは、プレス成形などにより、予め多面カット形状が表面に形成された線材を、支持片32の素材として使用することもできる。

ここで、装飾部34には、多面カット形状以外にも、縄状模様や唐草模様など

を形成することが可能であり、かかる場合の製作方法は前記同様である。

なお、装飾部34の多面カット形状は、より細かく形成され、またその最終仕上げも、より綿密に研磨されていることが好ましい。

かかる場合には、装飾部34が光を反射し易くなり、宝石固定金具30がより輝きを増すため、ファセットカット宝石31との一体感を高めることができる。

【0015】

図9は、本考案に係る宝石固定金具の第二実施形態を示す平面図であり、図10はその側面図である。

図9及び図10に示されるように、支持片52は、ファセットカット宝石51のガードル全周を巻く形状に限られるわけではない。

少なくともガードルの半周より長尺で、その半周以上に巻着するものであれば、ファセットカット宝石51を支える点が2カ所以上存在することになり、宝石固定金具50として機能することができる。

かかる場合は、ファセットカット宝石51を確実に取り付けるため、支持片52には拡開に対する強度が必要とされる。

したがって、ある程度内径の大きい丸線を支持片52の素材として使用するか、より硬度の高い素材を使用することが好ましい。

【0016】

また、図11(a)、図11(b)、図11(c)、図11(d)、図11(e)は、ペアーシェイプカット61、マーキースカット65、ハートシェイプカット66、オーバルミックスカット67、エメラルドカット68からなるファセットカット宝石について、本考案に係る宝石固定金具を使用して固定した状態を示す平面図である。

それぞれの図に示されるように、いわゆるラウンドブリリアントカット以外の種々のファセットカット宝石についても、本考案に係る宝石固定金具60により取り付けが可能である。

かかる場合には、支持片62は数個の部品に分断され、前記同様の方法により各ファセットカット宝石の外周形状に合わせて弾性変形され、互いにろう付け、一体的に連結されることで、それらのガードルに巻着される。

釣り下げ部63及び装飾部62についての加工方法は前記同様である。

【0017】

以上のように本考案を図示された実施例によって説明したが、それらを以って本考案を前記実施例のみに限定するものでなく、この考案の精神を逸脱せず、種々の改変を加えて、多種多様の変更ができることはいうまでもない。

【0018】

【考案の効果】

以上説明したように、本考案に係る宝石固定金具によれば、ファセットカット宝石に入射する光が減殺されることはなく、その輝きをそのまま発揮することができる。

また、ファセットカット宝石のガードルが支持片により保護されるので、ファセットカット宝石に外部衝撃が加わった場合などの保護を図ることもできる。

さらに、ファセットカット宝石と宝石固定金具が一体となって輝くため、その境界線が認識し難く、ファセットカット宝石そのものの美しさを生かすことができ、かつファセットカット宝石自体を大きく見せることもできる。